

# 総合情報メディアセンターNEWS

2021年 10月

第13巻 第3号

## マンガで読む医療の世界



皆さんは「医療マンガ」を読んだことはありますか？『ブラックジャック』『はたらく細胞』など、医療をテーマにしたマンガのことを指します。

今回は医学図書館で所蔵している約600冊の医療マンガの中から、エッセイやコラムの形式で描かれた作品を特集します。柔らかいタッチの絵や描き文字を使い、読みやすいのが特徴です。医療従事者を目指している方はもちろん、病気のことや医療技術のことを知りたい方にもおすすめです。

### I. 医療従事者の世界



『腐女医の医者道！』  
さーたり著  
(KADOKAWA, 2016)  
【所在】  
医学図1Fブラウジング  
W021:Sa83:1

現役外科医で三児の母で、オタクな著者が描く、リアルな医療現場と日常。「ドクターヘリ」「思い出の患者さん」の話が印象的。



『まどか26歳、研修医やっています！：女の子のお仕事応援コミックエッセイ』  
水谷緑著  
(KADOKAWA, 2015)  
【所在】  
医学図1Fブラウジング  
W9:Mi97

研修医の仕事のやりがい、恋愛事情などを時に厳しく、時にコミカルに描いている。

「心を病む」って何だろう？  
新人看護師の主人公が精神疾患の患者さんと関わる中で学んでいく物語。



『精神科ナースになったわけ』  
水谷緑・著  
(イースト・プレス, 2017)  
【所在】  
医学図1Fブラウジング  
WY160:Mi97

### II. 患者さんの世界



『うつヌケ：うつトンネルを抜けた人たち』  
田中圭一：著  
(KADOKAWA, 2017)  
【所在】  
医学図2F図書  
WM171:Ta84

うつ病を経験した著者が「うつトンネル」を抜けた方法、きっかけを語る。同じように「うつトンネルから脱出した人＝うつヌケした人」に取材した話も集めた、ドキュメンタリーコミック。



『重粒子の旅 = HEAVY PARTICLE ODYSSEY : 鼻にガンができた!』  
中川いさみ：著  
(小学館, 2019)  
【所在】  
医学図1Fこころ  
医こころ:闘病記:Na

鼻にできたガンを治療するため、重粒子線による治療をすることにした著者。クスッと笑える語り口の中で、病と向き合う不安や家族への想いが描かれる。

子宮頸がんの判明、入院から退院、そして治療の日々を描いた体験記。痛みや辛さをストレートに描いている。病室の仲間や家族の言葉があたたかい。



『さよならしきゅう = Goodbye My Womb』  
岡田有希：著  
(講談社, 2017)  
【所在】  
医学図1Fこころ  
医こころ:闘病記:Ok

# マンガで読む医療の世界

## Ⅲ. 医療技術の世界



『ねじ子のヒミツ手技  
改訂版』  
森皆ねじ子:著  
(エスエムエス, 2013)  
【所在】  
医学図2F図書  
WB102:Mo54:2

医師兼マンガ家である著者が「バイタルサイン」「心電図」などの手技や「ドに異物が詰まったとき」「熱傷」などの診察のコツ・ポイントを、イラストと手書き文字で解説する。



『ねじ子の  
ぐつとくる体のみかた』  
森皆ねじ子:著  
(医学書院, 2013)  
【所在】  
医学図2F図書  
WB141:Mo54

体の部位の診察方法＝みかたを解説した本。医学を学ぶ方だけでなく、「聴診器で何の音を聴いているんだろう？」など病院の診察を詳しく知りたい方にもおすすめ。

ワクチン開発の歴史をたどりながら感染症について知ることができる一冊。新型コロナウイルスや、ワクチンの副反応についても触れている。



『感染症とワクチンについて  
専門家の父に聞いてみた』  
さーたり, 中山哲夫:著  
(KADOKAWA, 2020)  
【所在】  
医学図1Fブラウジング  
WC500:Sa83

## 企画展示「マンガで読む医療の世界」を開催します

—医学図書館—

医学図書館では、今回の特集記事にちなみ、医療マンガの企画展示を開催します。特集で紹介しきれなかった作品、新しく購入した作品も展示・貸出しますので、ぜひご覧ください。

中央図書館や理工学図書館から取り寄せることもできます。

【展示期間】

10月18日(月)～12月24日(金)

【場所】

1階ロビー



## 第21回桐生楽講座—あなたの知らない(かもしれない)桐生—

「まちづくりプロデューサーから見る桐生」を開催します —理工学図書館—

桐生の人気ハンバーガー店、Ju the burger (ジュザバーガー)の代表である新見直広氏を講師にお迎えします。新見氏は、桐生市内で新見化学工業株式会社を経営する傍ら、昨年、Ju the burger2号店を東京にも出店されています。また、群馬大学の学生も参加する学生団体Yieldの代表であり、「炭水化物なまち桐生」の実行委員長も務められています。最近では、桐生キャンパスのすぐ近くにクラフトビールの店をオープンされています。多方面で活躍される新見氏の原動力は、「桐生を

もっと楽しい町にする」という思いだそうです。

当日はハイブリッドでの開催を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、変更する場合があります。理工学部の学生・教職員は申込不要、他キャンパス・学外の方は事前にお申込をお願いいたします。ご参加をお待ちしています。参加無料。

【日時】

11月5日(金)15:30～16:30

【場所】

1階ラーニング commons Ricomo  
／オンライン (Zoom)

第21回 桐生楽講座

まちづくりプロデューサーから見る桐生

Ju the burger 代表 新見直広氏

【日時】  
2021年11月5日(金)  
15:30～16:30

【場所】  
理工学図書館1階  
ラーニング commons  
Ricomo  
(群馬大学桐生キャンパス内)

【参加方法】  
・参加費無料  
・オンラインでも配信します (Zoom使用)  
・学外の方およびオンライン視聴をご希望の方は事前にお申込みください。  
詳細・お申込はこちらから

群馬大学理工学図書館 〒376-8516群馬県桐生市天神町1-3-1 TEL.0277-30-1079  
URL: https://www.media.gunma-u.ac.jp/

(理工学図書館 柘植久美子)

## 群馬ちびっこ大学2021参加報告 “今読むべき「推しの本」”

今年度の群馬ちびっこ大学は、コロナ禍ということもあり、YouTubeによる動画配信となりました。総合情報メディアセンターでは、“今読むべき「推しの本」”と題して、群馬大学で研究されているお二人の先生から小中学生向けに本を紹介していただくことにしました。

お一人目は、ダイバーシティ推進センターの長安先生です。長安先生は、男女共同参画をはじめとして多様性、ダイバーシティについてご研究されています。長安先生からは、『ひとりひとりの性を大切に社会へ』<sup>(1)</sup>という遠藤まめたさんの書籍をご推薦いただきました。この本は、性に対して「みんなが当事者である」と優しく語りかけている点に素晴らしさがあると指摘されています。小中学生が直面する性の

問題について、情報が少ない中、この本に出会うことで「人と違っていいんだ、自分は間違っていない、一人ではないんだ」ということを認識する一助になれば、とこの本をご紹介いただきました。

お二人目は、大学院理工学府分子科学部門の菅野先生です。菅野先生は、ケイ素の化合物の合成に関するご研究をされています。菅野先生からは、『分子と人間』<sup>(2)</sup>というピーターアトキンスの著作をご推薦いただきました。菅野先生は、小中学生が見る化学の本の多くは元素図鑑である点に着目されています。それに対して、この本は“分子の図鑑”であるということです。元素図鑑は金属元素が多く紹介されていますが、生命の構成要素は炭素などの化合物である点をご指摘され、分子の面白さについて知っ

てもらいたい、そんな観点からこの本をご紹介いただきました。この2つの書籍とも、図書館にあります。ぜひ一度この機会に手にとって読んでみてください。

(講師 小川康一)



### 【図書館の所在】

- (1)中央図開架  
請求記号 367.9:E56
- (2)中央図開架  
請求記号 431.1:A94  
(医学図・理工学図にもあります。)

## 自宅から利用できる電子資料について

群馬大学の学生・教職員の皆さまが、研究・学習などのために学外から利用できる電子資料（電子ブック・電子ジャーナ

ル・データベース）の情報をまとめたページを図書館のサイトに設置しています。ぜひご利用ください。（中央図書館 山村大）

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/support/zitaku.html>



## 学生図書選定キャンペーン第2次を実施中です！ —理工学図書館—

理工学図書館では学生図書選定キャンペーン「読みたい！読ませたい！秋 in 理工学図書館2021秋」を実施しています。

専攻分野に関する本が少ない、好きな作家さんの新刊小説が読みたい、一人暮らしに役立つインテリアや暮らしに関する本をチェックしたい、テレビで話題の小説やエッセイを読みたい、そんな思いを抱える学生さんは今がチャンスです。リクエストを受け付けています。ジャンルは問いません。

(※コミック、雑誌、授業の教科書は対象外です。)

キャンペーンで選定された本は1年間、図書館内のキャンペーン図書コーナーの棚に並びます。毎年多くの学生さんに利用される人気コーナーにあなたのおすすめの本を並べてみませんか？

### ★募集期間：

10月1日(金)～10月29日(金)

### ★応募方法：

- ①My Libraryにログインまたは
- ②館内設置の応募用紙で

★問い合わせ先：理工学図書館  
TEL:0277-30-1075  
E-mail:stlib@jimmu.gunma-u.ac.jp



(理工学図書館 渡邊さかえ)

## Microsoft Teamsカレンダーが利用できるようになりました

Microsoft Teamsはチャット、Web会議、ファイル共有等の多くの機能を持つコミュニケーションツールです。サービス管理上の問題によりTeams上でカレンダーが利用できない状態となっていました。9月からカレンダーも利用できるようになりました。現在は、多くのマニュアルで紹介されている手順で、

カレンダーから簡単にWeb会議を作成できます。

Teamsは多くの大学や会社で利用されておりWeb上にもたくさんの解説記事があります。チャットやWeb会議は、メールや電話とは違った便利さがありますので、このようなツールを利用されたことのない方は利用してみるのはいかがでしょうか

か？  
(准教授 瀧元信州)

### Teams クイックガイド

<https://blogs.windows.com/japan/2020/03/09/teamsguide/>



## 学習・研究サポートのための電子コンテンツの提供について

オンラインアクセスによる学習・研究サポートを目的に、オックスフォード大学出版局から期間限定の電子ジャーナル・データベースの無償提供をいただきましたので案内します。

※ 無償提供の中断・終了となる可能性があるため、Abstract（抄録）で内容を確認した上で、必要な論文だけの利用をお願いいたします。

### 1. 電子ジャーナル Oxford Journals Collection (2021年11月13日まで)

学術ジャーナル集。無償提供の間は群馬大学で現在購読しているパッケージより、利用可能なタイトルの範囲が広くなります。

### 2. 電子辞典 Oxford Research Encyclopedias (2021年11月13日まで)

各分野の専門家が執筆した査読記事が定期的に更新される分野別デジタル百科事典シリーズ。

詳しくはこちらをご覧ください。  
<https://www.media.gunma-u.ac.jp/announce/2021/lib/2021091600.html>



(中央図書館 山村大)

## 隠れたデータベースを紹介します <国立国会図書館デジタル化資料送信サービス>

せっかくの機能が知られておらず、利用者の目から隠れてしまっているのでは、と思われるデータベースを紹介したいと思います。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスです。こちらは、国会図書館がデジタル化を行った資料のうち絶版等の理由で入手が困難な資料を、承認された図書館内で利用できるサービスです。

国会図書館の取り決めで、利用できる方は学内者に限り、中央図書館カウンターで申し込み後に専用PCからのみの利用となりますが、貴重な古典籍から、テレビ・ラジオ番組の脚本・台本、1960年代の推理小説と幅広い分野を網羅しています。来館が難しい状況が続くかもしれませんが、ご記憶に留めていただければ幸いです。

利用可能な資料のリスト及び利用方法の案内はこちらです。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/eresources/databases/ndl-degital.html>



(中央図書館 山村大)



### 群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区: 前橋市荒牧町4-2  
昭和地区: 前橋市昭和町3-39-22  
桐生地区: 桐生市天神町1-5-1

TEL (027) 220 - 7170  
FAX (027) 220 - 7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>

図書館ブログ <https://blog.media.gunma-u.ac.jp/>

Twitter公式アカウント  @Media\_Gundai